

# 大系線沿線中学 学級数推移と総数決定基準の関係

2005年10月7日  
分析&文責: 中條

	H2 基準年	H14 (実績値)	H15 (実績値)	H16 (実績値)	H17 (実績値)	H18 (シミュレーション)	H19 (シミュレーション)	H20 (シミュレーション)	H21 (シミュレーション)	H22 (シミュレーション)	H23 (シミュレーション)	H24 (シミュレーション)	H25 (シミュレーション)	H26 (シミュレーション)	H27 (シミュレーション)	H28 (シミュレーション)	H29 (シミュレーション)	H30 (シミュレーション)	H31 (シミュレーション)	総数決定基準 期間平均値
第12区	1045	709	640	714	668	638	683	641	702	672	638	656	651	621	613	586	608	567	516	
H2対比	100%	67.8%	61.2%	68.3%	63.9%	61.1%	65.4%	61.3%	67.2%	64.3%	61.1%	62.8%	62.3%	59.4%	58.7%	56.1%	58.2%	54.3%	49.4%	
募集学級数	22	13	12	13	12	12	13	12	13	12	12	12	12	11	11	11	11	10	9	
定員比率/学級数		0.733	0.750	0.728	0.719	11.68	12.51	11.74	12.86	12.31	11.68	12.01	11.92	11.37	11.23	10.73	11.14	10.38	9.45	
平均定員比率/学級数					0.733														11.50	
総数決定基準校数		(2.4)	(2.2)	(2.4)	4	2.12	2.27	2.13	2.34	2.24	2.12	2.18	2.17	2.07	2.04	1.95	2.02	1.89	1.72	2.09
全員進学仮定時		(3.2)	(2.9)	(3.2)		2.90	3.10	2.91	3.19	3.05	2.90	2.98	2.96	2.82	2.79	2.66	2.76	2.58	2.09	2.84
11区大系線沿線中学	1458	1026	998.6	986.9	949	959.2	946.08	957.7	960.7	1032	962.1	966.5	981.1	991.3	994.2	1050	968	959.2	908	
H2対比	100%	70.4%	68.5%	67.7%	65.1%	65.8%	64.9%	65.7%	65.9%	70.8%	66.0%	66.3%	67.3%	68.0%	68.2%	72.0%	66.4%	65.8%	62.3%	
大系沿線高校進学者	565.3	398	387.2	382.7	368	372	366.87	371.4	372.5	400.2	373.1	374.8	380.4	384.4	385.5	407	375.3	372	352	
南安3校進学					277	280	276	280	280	301	281	282	286	289	290	306	283	280	265	
大北4校(実質2)進学					91	92	91	92	92	99	92	93	94	95	95	101	93	92	87	
大系線沿線必要学級数	14.1	9.9	9.7	9.6	9.2	9.3	9.2	9.3	9.3	10.0	9.3	9.4	9.5	9.6	9.6	10.2	9.4	9.3	8.8	
定員比率/学級数		0.388	0.388	0.388	0.388															
平均定員比率/学級数					0.388															
総数決定基準校数		(1.8)	(1.8)	(1.7)	3	1.69	1.67	1.69	1.69	1.82	1.70	1.70	1.73	1.75	1.75	1.85	1.71	1.69	1.60	1.72
全員進学仮定時						4.36	4.30	4.35	4.37	4.69	4.37	4.39	4.46	4.51	4.52	4.77	4.40	4.36	4.13	
大系線沿線合計	2503	1735	1639	1701	1617	1597	1629.1	1599	1663	1704	1600	1622	1632	1612	1607	1636	1576	1526	1424.18	
H2対比	100%	69.3%	65.5%	68.0%	64.6%	63.8%	65.1%	63.9%	66.4%	68.1%	63.9%	64.8%	65.2%	64.4%	64.2%	65.4%	63.0%	61.0%	56.9%	
募集学級数	62.57	43.38	40.96	42.52	40.43	39.93	40.727	39.97	41.57	42.6	40	40.56	40.8	40.31	40.18	40.89	39.4	38.16	35.6	
定員比率/学級数		1.000	1.000	1.000	1.000	39.93	40.73	39.97	41.57	42.60	40.00	40.56	40.80	40.31	40.18	40.89	39.40	38.16	35.60	
平均定員比率/学級数					1.000	21.0	21.7	21.0	22.2	22.3	21.0	21.4	21.4	21.0	20.9	20.9	20.5	19.7	40.05	
総数決定基準校数					7	3.82	3.94	3.82	4.03	4.06	3.82	3.89	3.90	3.82	3.79	3.80	3.73	3.58	3.32	3.81
全員進学仮定時						7.26	7.40	7.27	7.56	7.75	7.27	7.37	7.42	7.33	7.31	7.43	7.16	6.94	7.28	7.34

\* 旧南安曇郡としては旧安曇村・奈川村(安曇中・大野川中・奈川中:計29名)は地理的条件(大系線沿線)から除外した

注)・南安の大系線沿線中学は、豊科北・南、穂高東・西及び沿線3高への進学が比較的多い梓川・三郷・堀金の合計7中学とした

・H17の卒業生(実数)を基礎として、11区内全体の生徒数推移(H2基準)で生徒数を逆算

・H17の上記7中学からの大系線沿線高校(7校:大北4校+豊科・南農・穂商)進学者368名(949名中、大系線沿線への進学率 39%)を用い試算

## 【シミュレーション結果から読み取れること】

・計算上は12区+南安の生徒全員が進学すれば、総数決定基準上でも期間平均値で現在の7校を上回る(7.3校)

・しかしながら、南安地区の1000人が(現在でも40%満たない進学率が)魅力付けの結果として大北地区も含めた7校に進学するというのは幻想

・常識的には、現状を肯定してのシミュレーション結果である3.8校、もしくは最大限12区は全員地元進学としてそれに加算しての4.5校が妥当

・その場合でも、大北地区で再編案 1(大町・北統合)に対し、さらに1校(ないしは2校)の大系線沿線高での削減が必要となってしまう